

学科	講師	授業タイトル・内容
日本・中国文化学科	本井 牧子 先生	祇園精舎の鐘の声－響きの源流をもとめて－ 祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり ー有名な『平家物語』の冒頭です。でも、祇園精舎の鐘の音が「諸行無常」の響きをもつというのは、一体どうしたことなのでしょう。実は、この表現の背後には、ディープな伝承世界が広がっています。鍵となるのは、祇園精舎のあったインド……ではなくて、日本との間に位置する中国です。日本から中国へ、そしてインドへと、その伝承の流れをたずねてみましょう。
		音声言語って何だろうー「聞くこと」の英語教育学 世界には数千の言語が存在しますが、音声を持たない言語はひとつもありません。ある研究では、四技能のうち「聞くこと」は日常のコミュニケーションの45%を占めるとも言われます。聞くことと読むことは同じ活動でしょうか。なぜ母語に比べて英語で聞くことはむずかしいのでしょうか。本模擬授業では音声言語と書記言語の異同をながめながら、英語を聞く力を高めるための学習法について皆さんと一緒に学びたいと思います。
歴史学科	岩本 真利絵 先生	宋と明から見る皇帝権力と中国の社会 中国の皇帝といえば、なんでも自分の思い通りに命令できる絶対的な「独裁者」というイメージを思い浮かべるかもしれません。では、皇帝による統治はどのように行われていたのでしょうか。この授業では、宋代と明代の比較を通して、皇帝と官僚の関係、政治と社会のつながり、そして政治と人々の意識の関わりを探っていきます。各時代の皇帝政治の在り方の共通点と相違点から、大学での歴史の学び方を感じてもらえればと思います。
公共政策学科	江成 穰 先生	「いい政策」は本当に「いい政策」なのか？ 公共政策学科は多様な専門領域の教育を提供していますが、それは単一の学問領域の知見のみでは解き明かす事の困難な現代の社会問題を、多角的な視座から解き明かすためです。本模擬授業では、地球温暖化対策のための再生可能エネルギーを題材に、ある文脈では「いい政策」とされる政策が引き起こす問題や、それに対する対応策、想定されていなかった効果などを多角的に検討し、「望ましい政策」とは何かを考えます。多様な観点と立場から社会問題に迫ることで、よりよい社会のあり方を考えることができる点が、公共政策学科の学びの面白さです。本模擬講義を通して、その面白さの一端を感じてもらえれば幸いです。
福祉社会学科	長谷川 豊 先生	学校はなぜ必要とされるのか？ 「不登校」の小・中学生は、いま35万人以上とされます(2024年度)。実は、学校に30日以上通っていない長期欠席者は50万人を超えており、高校生も含めると60万人以上です。これほど多く子どもたちが遠のいている学校は、その使命・役割を果たしているのでしょうか。機能不全状態にあるといえ、不要だとも言われる学校という場所が、なぜ必要とされ、存続するのでしょうか。あなたが今いる場所を問い直してみませんか。
農学生命科学科	森田 重人 先生	遺伝子工学による植物の改良 近年多くの植物で遺伝子の研究が飛躍的に進展しました。それに伴って遺伝子工学、すなわち有用遺伝子の導入やゲノム編集技術を用いて、植物を改良する研究が盛んに行われています。例えば、収量上昇や、環境変動に強い植物の開発、また医薬品やフクチンなどを植物に作らせることが可能です。さらに、最近ゲノム編集技術で開発した新たな作物が実用化されています。この授業では、遺伝子導入やゲノム編集による植物の改良の事例を紹介します。
栄養科学科	村元 由佳利 先生	給食経営管理論：安全でおいしい給食を提供するために 特定多数人を対象として継続的に食事を提供することを「給食」といいます。おいしい給食で人々を心身ともに健康に、そして笑顔にすることは、栄養士・管理栄養士の醍醐味の一つです。本授業では、給食の運営について概説するとともに、安全でおいしい給食を提供するための施設・設備や衛生管理について講義します。併せて、約100人分の給食を調理・提供する実習の様子についても紹介します。
和食文化科学科	石川 智士 先生	食の生態学入門 食の安全保障を考える上では、生態学的な思考が重要である。なぜ？そう言えるのかを、水産資源の持続的利用を例に解説します。また、生態学的視点に立ち、食の安全保障を推進するための活動としてどのような事ができるのかを、栽培漁業と磯焼け対策を例に紹介します。
生命化学科	安部 聡 先生	タンパク質は“形”が大事！ 私たちの体の中では、酵素や抗体など、さまざまなタンパク質が働いています。タンパク質は、それぞれ特有の「形」を持ち、その形が働きを決めています。本模擬講義では、タンパク質の形と機能の関係や、その形がどのように決まるのかを紹介します。さらに、タンパク質が自然界で自ら集合して構造をつくる現象や、医薬品開発にもつながる最先端研究にも触れ、生命化学の面白さと可能性についてお話しします。
森林科学科	淵上 佑樹 先生	木材利用は環境に良い？ーカーボンニュートラルとの関係ー みなさんは、木材利用にどのようなイメージを持っていますか？近年、日本では木材の利用がカーボンニュートラルに貢献するとして注目されています。大阪・関西万博の「大屋根リング」や、東京・日本橋で建設が進む18階建て・高さ84mの本造高層ビルは、その象徴的な例です。しかし、CO2を吸収する森林を伐採して利用することが、なぜ環境に良いのでしょうか。本講義では、木材利用とカーボンニュートラルの関係を、森林の役割や建築利用の視点からわかりやすく解説し、その際に注意すべきポイントについても考えます。
環境デザイン学科	荒木 裕子 先生	これからの災害と私たちの生活環境 皆さんも南海トラフ地震の発生確率の評価値を聞いたことがあると思います。また近年の気候変動や降雨量の増大は身をもって実感しているのではないのでしょうか。これら自然現象だけでなく、その影響を受ける側である私たちの生活や暮らしにも多様な変化が起きています。模擬講義では環境デザイン学科で学ぶことを踏まえつつ、近年の災害事例も用いながら災害やこれからの安全について一緒に考えます。
	森田 一弥 先生 福井 亘 先生	模擬講評会 学科の中心的教育プログラムの一つである「環境デザイン実習」において実際に設計された課題の成果（2回生前期の住宅設計課題、3回生前期の小学校設計及びビニテリア設計課題）を素材に模擬講評会を実施します。模擬講評会では、実際に作成された学生の作品や学生・教員による具体的な進行の様子をご覧いただくことで、「環境デザイン実習」の概要リアルに知ることができます。